

『お薬手帳を忘れずに』

吉良内科循環器クリニック 院長 吉良 哲也



日頃は総合病院にかかりつけの患者さんが風邪をひいて当院に
来られました。「今飲んでいる薬の内容はわかりますか？」とお
聞きすると、「お薬手帳も薬も忘れて来ました」「薬の名前は覚
えてないですか？」「薬の名前は覚えてないけど、白くて丸い錠
剤です」「・・・薬ってほとんどが白くて丸い、、（心の声）」

かかりつけでない病院を受診する際に、急病やちょっとした症状の場合は紹介
状を持って行けないこともあります。このような場合は、いつも飲んでいる薬の
内容が分かるものを持参しましょう。お薬手帳や薬の内容を書いた一覧表があれば
最適ですが、ない場合は薬そのものを持参して下さい。ただし一包化といって、
薬を個別の包装から取り出して1つの袋にまとめてしまっていると、何の薬か判
定困難になります。

薬はその人の体調をうつす鏡ともいえます。服用している薬をみると、どんな
持病があり、どういった症状があるのかについて多くの情報が得られます。逆に
日頃飲んでいる薬がわからないと、薬を追加して処方しようとしても、薬の飲み
合わせの問題や、成分の重複した薬を出してしまう恐れがあり、治療が困難にな
ってしまいます。複数の病院を受診している人は、お薬手帳を調剤薬局に提出す
ることで、こういった飲み合わせの点もチェックしてもらえます。是非お薬手帳
を活用しましょう。

また入院が必要になった際に、「病院に入院するのだから薬はすぐにもらえる
はず」と、日頃服用している薬を家に置いてくる人がいらっしゃいます。入院し
てもすぐに薬が出せるわけではなく、日頃服用している薬をまずは服用してもら
う場合がほとんどですので、入院の際にも、薬とお薬手帳を忘れずに持参して下
さい。

吉良内科循環器クリニック 大分市大字角子原 870 TEL097-522-3000